



福井県社会福祉協議会 アクションレポート

令和3年8月13日 No.4

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 総務企画課
〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22
TEL 0776-24-2339 / FAX 0776-24-8941 / E-mail somu@f-shakyo.or.jp

このアクションレポートは、本会の主な事業等の進捗を定期的にお知らせするために、役員および関係機関向けに発行させていただくものです。

今月号の内容

- 1 コロナ禍における地域福祉活動支援に関する県への要望書提出
- 2 まごころ基金助成事業、子ども未来支援事業助成決定
- 3 ボランティア体験 2021
- 4 ふくい福祉就職フェア
- 5 受入施設と技能実習生候補者との月例交流会開催
- 6 法人連携協「地域貢献セミナー」開催
- 7 令和3年7月豪雨災害で越前町災害VCが開設

コロナ禍における地域福祉活動支援に関する県への要望書を提出しました

今般の新型コロナウイルス感染症の蔓延は、これまでの社会福祉協議会の活動を通じて培われてきた地域住民が互いに寄り添い、支え合う意識や生活に大きな影響を及ぼしました。

市町社協では、感染症が未だ蔓延する中であっても、感染予防に万全を期しながら途切れることなく、地域の事情に応じたきめ細かな住民への相談支援や地域ぐるみの見守り・支え合いなどの福祉活動を推進しています。

一方で、活動を通じて、日々多くの高齢者、障がい者、子育て世帯等と接触することによる感染リスクは決して少なくなく、また、災害等の有事においては、災害ボランティア活動支援の最前線で、不特定多数の人たちと接するなど、市町社協職員が住民の安全安心な暮らしを支える上で、当該職員のワクチンの早期接種と地域福祉活動に対する支援が重要な課題であることから、7月1日（木）に本会から福井県知事あてに要望書を提出しました。

福祉地発第 377号
令和3年7月1日

福井県知事
杉本 達治 様

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会
会長 小藤 幸男

コロナ禍における地域福祉活動支援に関する要望について

日ごろから、地域福祉の推進に、特段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、今般の新型コロナウイルス感染症の蔓延は、これまで社会福祉協議会の活動を通じて培われてきた地域住民が互いに寄り添い、支え合う意識や生活に大きな影響を及ぼしました。

市町社会福祉協議会（以下、市町社協）では、これまで生活に困窮する世帯と生活福祉資金特例貸付に関する丁寧な相談対応はもとより、感染症が未だ蔓延する中であっても、途切れることなく、地域の事情に応じたきめ細かな住民との相談や見守り支え合う地域ぐるみの福祉活動を感染予防に万全を期しながら推進しています。

しかしながら、日々多くの高齢者、障がい者、子育て世帯などと接触することによる感染リスクは決して少なくなく、また、災害等の有事においては、災害ボランティア活動支援の最前線で、不特定の多くの被災者やその支援者と接することを鑑みても、市町社協職員の安全安心な活動、ひいては県民の安全安心な暮らしを支える上において、当該職員のワクチンの早期接種のほか、地域福祉活動にかかる支援を必要としています。

また、この一環として全国社会福祉協議会より、令和3年6月22日付で厚生労働省に対し、別添のとおり市町社協職員へのワクチンの優先接種にかかる要望が行われたところです。

つきましては、貴職におかれまして、コロナ禍において、地域の最前線で地域福祉の推進に関わる市町社協の活動を安全かつ継続的に行えるよう、市町に対する支援の要請等特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

基本目標 1

社会的孤立を生まない
地域づくり

基本目標 3

制度の狭間を生まない
包括的支援体制づくり

関連する SDGs ゴール



福井県まごころ基金助成事業および子ども未来支援事業「子ども食堂等への助成」決定

基本目標 1

社会的孤立を生まない地域づくり

基本目標 2

地域と福祉を支える担い手づくり

5つのチャレンジ①

子どもの貧困・貧困の連鎖をなくすための取組み強化

5つのチャレンジ②

ひきこもり・8050問題への理解促進と支援の輪づくり

5つのチャレンジ④

企業や社会福祉法人と連携してすすめる障がい者の社会参加促進

関連する SDGs ゴール



本会では「福井県まごころ基金」の運用益を活用して、県内の地域福祉の向上を目的にすすめられるさまざまな福祉活動に対して助成を行っています。

平成3年度の事業開始から昨年度までに、延べ965団体に対して、総額1億7千万円を超える助成を行ってきました。

今年度は、以下の 10 団体に対して合計 2,118,000 円の助成を決定し、去る 7 月 20 日（火）に助成交付式を行いました。

また、あわせて「松原ふれあい基金」の運用益を財源とする子ども未来支援事業「子ども食堂等への助成」についても、2 団体に各 200,000 円の助成を決定しました。



令和3年度（第31回）福井県まごころ基金助成事業助成団体

助成区分		助成団体数	助成団体名
通常助成枠	高齢者の福祉向上を通じた取組	1 団体	あわら市脳活クラブ
	障がい者（児）の福祉向上を通じた取組	2 団体	特定非営利活動法人ピアファーム 特定非営利活動法人はあもにい永平寺
	地域全体の福祉向上を通じた取組	3 団体	福井県みらい子育てネット母親クラブ連絡協議会 円山文化振興会 福井市ボランティア連絡協議会
チャレンジテーマ枠	子どもの貧困・貧困の連鎖をなくすための取組	1 団体	一般社団法人シングルマザーの幸せな生活研究所
	ひきこもり・8050問題への理解促進と支援の輪づくり	2 団体	特定非営利活動法人心の健康相談室こだちのもり 一般社団法人福井コミュニティ協会
	障がい者の社会参加促進	1 団体	福井県ろうあ協会

令和3年度子ども未来支援事業（子ども食堂等への助成）助成団体

	助成団体名	活動地域
1	子ども食堂スマイル	坂井市
2	だれでも食堂「夕焼けこやけ」	福井市

「ボランティア体験 2021」を開催しています

本会では、県民がボランティア活動に主体的に参加できる場づくりをすすめるため、各市町ボランティアセンターや福祉施設等と連携し、毎年「ボランティア体験」企画を開催しています。

体験は、小学生高学年以上の県民を対象としており、活動・日程を自由に選んでボランティアに参加することができます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりボランティアの受け入れを一時休止している施設もありますが、体験期間を例年よりも長く（7月22日（木）～12月20日（月））設定し、ボランティア活動のきっかけづくりとなるよう、最大限の努力を行っています。

「つながれボランティアの輪」推進活動
ボランティア体験 2021
参加者大募集！
体験期間 7月22日（木）～12月20日（月）
初心者大歓迎！
1日からOK！
体験してみませんか？
ボランティア体験2021 福井県社協

ふくい福祉就職フェア（福祉の職場説明・面談会）開催

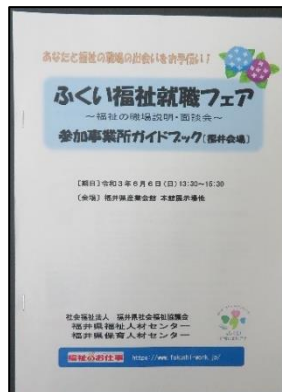
6月1日の就活解禁に伴い、福井県福祉人材センター・嶺南福祉人材バンク無料職業紹介所では、福祉分野の仕事の魅力発信や県内福祉施設等と求職者との身近な地域での就職マッチングの機会を創出することを目的に、県内4会場で「ふくい福祉就職フェア」を開催しました。

今後も就職フェア等の各種事業を通じて、福祉の仕事の理解促進を図るとともに、福祉・介護・保育サービスを担う人材の発掘・確保に取り組んでいきます。

会場（開催日）	参加事業所数	参加者数
福井会場（6/6）	44 事業所	22 名
嶺南会場（6/12）	14 事業所	12 名
坂井会場（6/26）	11 事業所	9 名
丹南会場（7/24）	17 事業所	23 名



会場での面談の様子



当日参加者に配付された参加事業所ガイドブック

基本目標 2

地域と福祉を支える
担い手づくり

関連する SDGs ゴール



受入施設と技能実習生（候補者）との交流促進 ～月例交流会の開催とグループLINEの活用～

今春の面接により県内4施設に各2名ずつの技能実習生（候補者）の受入れが決定しました。

一方、コロナ禍の影響による入国制限等により、入国・配属時期が不透明となっているため、この間の受入施設と技能実習生とのコミュニケーション機会の確保が課題となっていました。

そこで、入国や受入れ準備に係る情報交換と両者のモチベーションの維持向上を図ることを目的に、オンラインによる月例交流会を受入施設毎に毎月1回開催しています。

また、施設職員と技能実習生が、随時に直接的なコミュニケーションを行えるよう開設した各施設のグループLINEは、日常的な日本語でのやりとりによる日本語能力の向上だけでなくお互いの親近感や信頼関係づくりに役立っています。

受入施設との月例交流会の様子



5つのチャレンジ③

福祉・介護で働く在日外国人への支援

関連する SDGs ゴール



法人連携協による「地域貢献セミナー」を開催

基本目標 3

制度の狭間を生まない
包括的支援体制づくり

関連する SDGs ゴール



県内の社会福祉法人が連携して地域における公益的な取組みを効果的に行うことを目的に設立された「福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会」（事務局：県社協）は、7月29日にオンラインで「地域貢献セミナー」を開催しました。

セミナーでは、県域、市町域で連携して地域における公益的な取組みを行う香川県社協、越前自立支援協会と越前市社協がそれぞれの取組みを紹介し、参加者は市町域での顔の見える関係づくりの重要性を認識し、今後の取組みの向上や法人間の連携促進に向け、熱心に耳を傾けていました。

本会としても、今回の2つの取組みを参考に今後の法人連携協ならびに県内の社会福祉法人の地域における公益的な取組みの促進を引き続きすすめていきます。



オンラインで行われたセミナー

令和3年7月の豪雨災害で越前町災害ボランティアセンターが開設

基本目標 2

地域と福祉を支える
担い手づくり

5つのチャレンジ⑤

災害時福祉救援体制の
強化

関連する SDGs ゴール



7月29日明け方から嶺北地域を中心に記録的な大雨となり、福井市や越前町において、住家浸水等の被害が発生しました。

本会では、「災害時における社協ネットワークによる相互支援協定」に基づき、県内の各市町社協に被害状況を確認するとともに、7月30日に特に被害の大きかった越前町に職員3名を派遣しました。

その後、同日付で「越前町災害ボランティアセンター」の設置が決まったことから、越前町社協の要請を受け、本会からも職員を継続的に派遣し、センターの立ち上げと運営支援を行いました。



越前町社会福祉センター前に開設された
災害ボランティアセンター

コロナ禍における災害ボランティア活動ということで、ボランティア募集を町内在住・在勤者に限定。また、日々検温を行うなど、従来とは異なる対応が求められましたが、8月8日（日）のセンター閉所までの期間で延べ224人のボランティアにご協力いただき、延べ21件の支援活動を完了しました。

次回のアクションレポートは、12月に
発行予定です。

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 総務企画課

〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22

電話番号:
0776-24-2339

FAX 番号:
0776-24-8941

電子メール:
somu@f-shakyo.or.jp